

抗 Importin $\alpha 3$ / Qip1 抗体, ラット モノクローナル (3D10)

70-325 200 μ g

保存: 4℃または-20℃で送付、-20℃ で保存。

抗原: リコンビナント・マウス importin $\alpha 3$ / Qip 1 (全長)

形状: 精製モノクローナル抗体 (IgG) 1mg/ml in PBS, 50% glycerol, 濾過滅菌

アイソタイプ: ラット IgG2a λ

Epitope: 決定されてない

反応性: ヒト、サル、マウス、ラット、ハムスター、ウシの importin $\alpha 3$ 。この抗体は importin $\alpha 4$ を含む他の importin α ファミリー・タンパク質には反応しない。

用途:

1. ウェスタンブロッティング (60 kDa の単一バンドとして検出)
2. ELISA

この抗体は免疫蛍光染色や免疫沈降には適さない。

背景: Importin α ファミリー・タンパク質はタンパク質の細胞質から核への輸送に重要な役割を果たしている。Importin α ファミリー・タンパク質は核局在信号 (nuclear localization signal、NLS) と呼ばれる特定の amino 酸配列をもつタンパク質に結合し、この複合体にさらに importin β が結合して 3 者複合体が形成されると importin β の機能により複合体は核膜孔を通過し、タンパク質が核へと輸送される。Importin α にいくつものアイソタイプが存在するのは、それぞれが特定の NLS を認識して結合し、核輸送に働いているためと思われる。Importin $\alpha 3$ (Qip1) は Importin α ファミリー・タンパク質の一員で、Qip1 subfamily に属している。

この抗体は無血清培地で培養されたハイブリドーマの培地より独自のクロマト法などのマイルドな方法により精製された。

データリンク: Swiss-Prot [D3DNM2](#)

文献: この抗体は文献 3 で作られ、文献 3,4 で用いられた。

1. Yoneda Y “Nucleocytoplasmic protein traffic and its significance to cell function.” Review. *Genes Cells* **5**: 777-787 (2000) PMID: [11029654](#)
2. Miyamoto Y et al “Differential modes of nuclear localization signal (NLS) recognition by three distinct classes of NLS receptors.” *J Bio Chem* **272**:26375-26381 (1997) PMID: [9334211](#)
3. Sakaguchi N *et al* “Generation of a rat monoclonal antibody specific for importin alpha3/Qip1.” *Hybrid Hybridomics* **22**: 397-400 (2003) PMID: [14683601](#)
4. Yasuhara N *et al* “Triggering neural differentiation of ES cells by subtype switching of importin-alpha.” *Nat Cell Biol* **9**:72-79 (2007) PMID: [17159997](#)

次ページへ

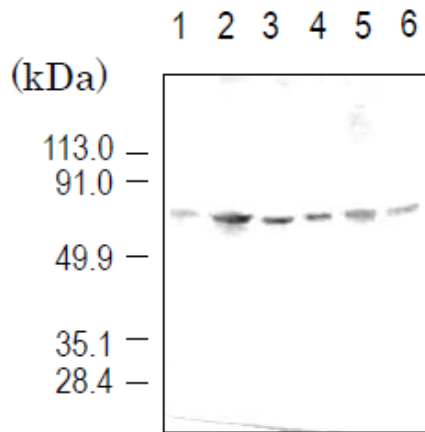


図 1

3D10 抗体を用いたウエスタン
ブロッティングによる
importin $\alpha 3$ の検出

サンプルは細胞全抽出液

lane1: HeLa (ヒト)

lane2: COS7 (サル)

lane3: L929 (マウス)

lane4: NRK (ラット)

lane5: BHK (ハムスター)

lane6: MDBK (ウシ)